

2009年度第3四半期 決算説明会



2010年2月9日(火)
日本テレビ放送網株式会社

本説明会及び資料の内容には、
将来に対する見通しが含まれていることがあります。
しかし、実際の業績は、さまざまな状況変化や要因により、
これらの見通しと大きく異なる結果となり得ることがあり、
何らの保証やコミットメントを与えるものではありません。
ご了承下さい。
また、本資料の無断転載はお断りいたします。



決算概況について

代表取締役 社長執行役員
細川 知正





連結損益

(単位:百万円)

連結	2008年度 4-12月期	2009年度 4-12月期	伸率(%)
売上高	245,860	223,366	△9.1
営業利益	5,116	16,739	227.2
経常利益	8,297	19,938	140.3
四半期純利益	1,277	12,274	860.7

(単位:百万円)

連結	2008年度 10-12月期	2009年度 10-12月期	伸率(%)
売上高	80,874	79,053	△2.3
営業利益	3,819	8,517	123.0
経常利益	4,994	9,581	91.9
四半期純利益	2,498	5,804	132.4



単体損益

(単位:百万円)

単体	2008年度 4-12月期	2009年度 4-12月期	伸率(%)
売上高	208,483	196,331	△5.8
営業利益	2,549	16,509	547.4
経常利益	5,351	18,941	253.9
四半期純利益	12	10,477	83,107.3

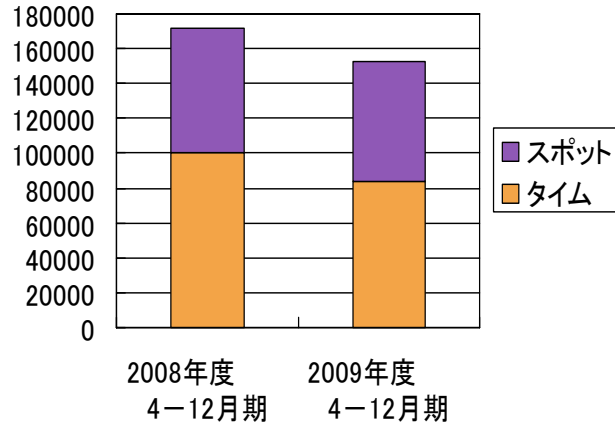
(単位:百万円)

単体	2008年度 10-12月期	2009年度 10-12月期	伸率(%)
売上高	68,513	67,017	△2.2
営業利益	3,147	7,736	145.8
経常利益	3,989	8,329	108.8
四半期純利益	1,917	4,942	157.7



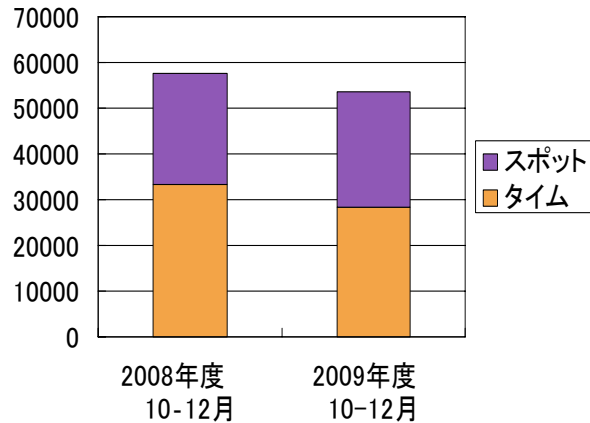
放送収入(単体)

(単位:百万円)



	2008年度 4-12月期	2009年度 4-12月期	比較	伸率(%)
放送収入	171,421	152,668	△18,753	△10.9
タイム	100,079	83,563	△16,515	△16.5
スポット	71,341	69,104	△2,237	△ 3.1

(単位:百万円)



	2008年度 10-12月期	2009年度 10-12月期	比較	伸率(%)
放送収入	57,583	53,678	△3,905	△ 6.8
タイム	33,334	28,250	△5,084	△15.3
スポット	24,249	25,428	1,179	4.9



事業収入(単体)

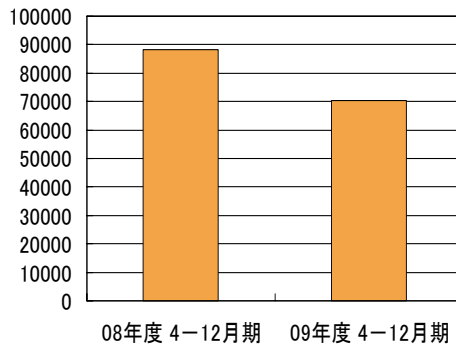
(単位:百万円)

事業種別		2009年度 4-12月期	伸率(%)	2009年度 10-12月期	伸率(%)
イベント	イベント	4,982	7.7	581	△13.1
TV	BS・CS・ CATV他	4,314	8.9	1457	6.6
コンテンツ	ライツ	1,494	5.8	631	22.7
	海外番販	468	△44.9	119	△29.2
	通販	7,939	33.9	2,740	12.7
	出版	430	△35.0	132	△48.2
	映画	13,091	55.0	4,019	128.2
	その他	217	△11.0	99	19.2
合計		32,935	26.1	9,777	34.9



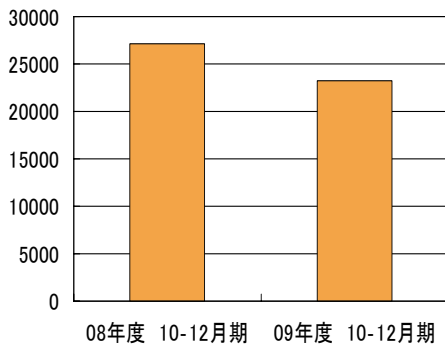
番組制作費(単体・管理ベース)

(単位:百万円)



	2008年度 4-12月期	2009年度 4-12月期	比較	伸率(%)
番組制作費	88,289	70,464	△17,825	△20.2

(単位:百万円)



	2008年度 10-12月期	2009年度 10-12月期	比較	伸率(%)
番組制作費	27,116	23,281	△3,834	△14.1



2009年度 通期業績予想

* 今回、業績予想を修正しました

(単位:百万円)

通 期	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連 結	293,000	18,400	21,700	13,000
(前 回 予 想)	291,900	15,000	18,500	11,300
単 体	256,000	17,400	20,200	11,200
(前 回 予 想)	254,000	15,500	18,300	9,900

(単位:円)

前提	下期	通期
タ イ ム	△14.7%	△15.9%
(前 回 予 想)	△15.7%	△16.4%
ス ポ ッ ト	△1.0%	△4.1%
(前 回 予 想)	△3.9%	△5.6%
制 作 費	△5.2%	△14.8%
(前 回 予 想)	△5.2%	△14.8%

配当	中間	期末	年間
2009年度 (予定)	90	130	220
2008年度	90	90	180

* 今回、期末配当予想を修正しました



セグメント別予想

(単位:百万円)

通期		テレビ放送事業	文化事業	その他の事業	消去 又は全社	連結
売上高	今回	222,400	66,300	12,400	△8,100	293,000
	11月	220,300	67,300	12,400	△8,100	291,900
営業利益	今回	25,800	2,900	1,500	△11,800	18,400
	11月	23,900	1,700	1,500	△12,100	15,000

主な修正点

テレビ放送事業

- 日テレ単体の放送収入上方修正による修正

文化事業

- 売上高は、日テレ音楽売上増もVAP売上が減少し微減
- 利益は、VAPの大幅コストカットなどにより上方修正

編成について

取締役 専務執行役員
舩方 勝宏





2009年間「ノンプライム」単独1位

2009年 年間平均視聴率 (2008/12/29-2010/1/3)

		NTV	TBS	CX	EX	TX	HUT
全日 (6~24)	②	8.4	6.9	8.6	7.9	3.3	43.0
昨年同期		8.3	7.4	8.5	7.7	3.6	43.3
プライム (19~23)	②	12.6	10.1	13.4	12.1	6.8	63.5
昨年同期		12.4	11.2	13.3	11.9	7.6	64.5
ゴールデン (19~22)	②	12.4	10.0	13.5	11.4	7.2	64.8
昨年同期		12.4	11.3	13.3	11.2	8.0	66.0
ノンプライム (6~19、23~24)	①	7.3	6.0	7.2	6.6	2.2	37.1
昨年同期		7.1	6.4	7.1	6.6	2.4	37.3



2月第1週 「4冠王」 獲得

2009年度 第45週視聴率 (2010/2/1～2010/2/7)

		NTV	TBS	CX	EX	TX	HUT
全日 (6～24)	①	9.7	7.0	8.4	7.5	3.1	43.4
プライム (19～23)	①	15.4	10.0	12.4	10.6	6.3	64.1
ゴールデン (19～22)	①	14.7	10.0	12.9	9.8	6.8	65.4
ノンプライム (6～19、23～24)	①	8.1	6.2	7.2	6.7	2.1	37.5



編成トピックス(1-3月期)

① 2月1週に大型番組を編成

1(月)	「世界一のSHOWタイム」	19.5%
2(火)	「THE料理王」	16.0%
5(金)	「崖の上のポニョ」	29.8%



② 春の期末期首に単発大型ドラマ

- ・「霧の旗」 主演:市川海老蔵
- ・「書道教授」 主演:船越英一郎
- ・このほか、渡辺謙主演のドラマも放送予定



4月改編のポイント

① 平日19時台「日テレブランニュー7」

- スーパーサプライズ枠 … 火曜日を除き、1月に2本、4月に2本を新番組化
- コアターゲットへの訴求。見たい！番組を徹底的に追求
- 生CM、オリジナルCM、企画CM … 広告主の要請にフレキシブル対応

② 週末の更なるブランドカアップ

- 土曜日 22時と23時に新番組
- 土・日曜日 23時55分 スポーツおよびニュース枠の改編

③ 平日昼間の新たなチャレンジ

- 平日 10時25分 と 11時55分 番組タイトルを変更

④ メインターゲットを見据えたドラマ戦略

- 水曜日 22時 女性をターゲットに据えたドラマ
- 土曜日 21時 家族で楽しめるエンターテインメントドラマ
- レギュラー以外の大型単発ドラマ



編成トピックス(4月改編)

① 金曜ロードショー

- 今見たい！早く見たい！絶対見逃せない！話題作を豪華ラインナップ

② ジャイアンツ戦中継

- ジャイアンツ主催試合を地上波、BS、G+の3波で放送 新たな野球ファンの開拓に努める
- 地上波 22試合 * ナイター8(-4)、デーゲーム14(+4)
- BS 56試合 * 前年比+4
- G+ 72試合 * 前年比±0

③ 日テレecoウィーク2010

- 24時間テレビ、箱根駅伝に並ぶ大型企画へ
- 5月30日～6月6日 日テレ各番組で発信
- NHKと共同でキャンペーン展開



④ 期末・期首で戦略的編成

- 絶好調レギュラーに加え、大型特番を編成
- 「ブランドイメージ」、「商品力」、「視聴者満足度」がキーワード



第2日テレが好調

第2日テレが黒字基調に

- 2005年10月のサービス開始以来、インターネット上の様々な手法に挑戦してきた
- 2009年1月、2009年10月に単月黒字達成。その後も順調
- インターネット動画業界で世界初となる「安定黒字」に向けた道筋ができた

来年度の第2日テレの見通し

- 年度黒字化への挑戦



第2日テレのビジネスモデル

企画

優秀な演出・作家陣による企画



日本テレビが誇る演出、作家陣が地上波番組に劣らない魅力的な企画に練り上げます。

編成局デジタル
コンテンツセンター



プロデューサー

キャスティング

無数のコネクション



テレビ局の真髄とも言えるキャスティングは、他社にそう簡単に真似出来るものではありません。

映像制作

プロが作る高品質コンテンツ



カメラワークや照明、音声、編集等、長年培った「ワザ」が映像コンテンツを磨き上げます。

インターネット動向分析

最新のネットサービスを取込み



変化の激しいネット業界動向を的確分析。最新の技術、スピード、センスによって取り込みます。



第2日テレ+Twitter=注目度“大”

あの「電波少年」がTwitterと合体！

スポンサーにトヨタ自動車

+

懐かしの「電波少年」

伝説の『ヒッチハイクの旅』が復活

+

今、旬のツール「Twitter」を活用

Tプロデューサーからの連絡・指示は
すべてTwitterを通じて出される。
衣食住(宿)もTwitterで確保

営業について

取締役 常務執行役員
弘中 喜通

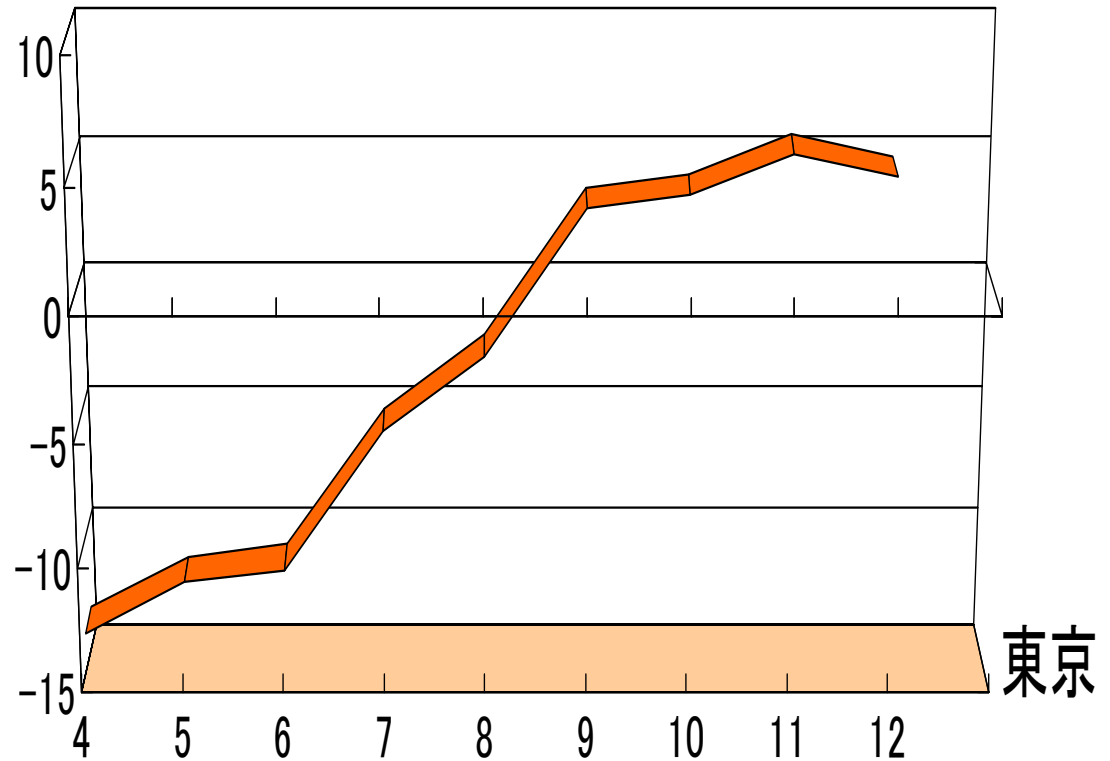




好調続くスポットセールス

月別スポット収入

月	スポット対前年比
7月	△ 5.2%
8月	△ 2.2%
9月	3.6%
10月	4.1%
11月	5.7%
12月	4.8%
4-12月	△ 3.1%



- 第3四半期 対前年比4.9%増は民放キー局NO.1
- シェアも第2四半期より1ポイント増
- 巣籠り需要やレジャー関連業種の出稿が好調

コンテンツ事業について

代表取締役
細川 知正

社長執行役員





日テレMovie

第3四半期公開映画の興行収入

(2月8日現在) * 印映画は公開終了

* カイジ 人生逆転ゲーム	22.5億円	10月10日
* 僕の初恋をキミに捧ぐ	21.5億円	10月24日
* なくもんか	13.5億円	11月14日
ウルルの森の物語	5.5億円	12月19日
BANDAGE	4.5億円	1月16日





日テレ通販が絶好調

第3四半期 過去最高の収入

- 収入79億3900万円と第3四半期過去最高を更新

第3四半期 売上ベスト5

- ①京都西川特選羽毛寝具セット（ふとん）
- ②ジーニーインスタントラインスモーカー（化粧下地）
- ③ダイソンDC26タービンヘッドエントリー（掃除機）
- ④5万石オリジナルおせち（食品）
- ⑤ポータブルナビトライウィンポケット（カーナビ）

①



②



③



④





日テレ通販が絶好調

好調の理由

- 系列局でも特番放送。売り場面積が拡大
- 売れ筋商品の発掘
- レギュラー番組に加えて通販特番が好調

通販特番で大きな成果

- 10月「お笑い芸人VS[Ⓢ]秘芸能人特選ハントSP」
日テレ7との合同特番。系列16局が参加
- 11月「行列のできる通販王決定戦 第3弾」
バラエティ局とのコラボ特番。系列14局OA
- 12月「全国お取り寄せ お歳暮スペシャル！」
特番として過去最高15億円受注。系列27局OA





VAP 現状と見通し

VAPの第3四半期

- 減収減益の要因はMG償却とCD発売の延期
- ヒット映画「20世紀少年」等の製作委員会から出資リターン
- 販促費、宣伝費、接待費等のさらなる削減を実行
- 日テレ室を設置。日テレとの連携をより強固に

VAPの第4四半期見通し

- 今まで以上に固定費などの削減を断行
- ヒット映画などのDVDを相次いで発売
「20世紀少年最終章」、「サマーウォーズ」、「ごくせんTHE MOVIE」、
「ルパン三世」(TVシリーズ21作品。ブルーレイDVDも発売)





次頁から
補足資料です



業種別スポット売上(10-12月期)

	2009年度 10-12月期	シェア	伸率(%)	2008年度 10-12月期	シェア	伸率(%)
1	化粧品・トイレタリー	10.4	10.9	電気機器	12.6	7.5
2	電気機器	10.3	△ 14.0	化粧品・トイレタリー	9.9	14.2
3	薬品	8.7	5.8	薬品	8.6	△11.4
4	アルコール飲料	6.8	0.3	運輸・通信	7.1	△23.5
5	映画・演劇興行	6.5	60.5	アルコール飲料	7.1	31.9
6	運輸・通信	6.5	△ 5.2	輸送機器	6.9	9.8
7	サービス	6.2	39.2	スポーツ・趣味用品	5.3	△1.3
8	輸送機器	5.6	△ 15.4	サービス	4.7	1.9
9	食品<乳製品調味料>	4.4	23.4	金融・保険業	4.4	△17.8
10	レコード他	4.4	96.9	映画・演劇興行	4.2	△32.2
	その他	30.3	8.7	その他	29.2	△23.7
	合計	100.0		合計	100	△10.4



設備投資額と減価償却費

(単位:億円)

2009年度4－12月期実績	設備投資額	減価償却費
連結	26	70
単体	22	63



NITTELE DA BEAR

本日は、お越しいただきありがとうございました